



## シリーズ ふるさと再発見・地区めぐり

# 大熊町を端から端まで 知りつくそう!

〒979-1301 第1回は夫沢地区です。

今回からシリーズとして町内各地区を地区の方のお話を交えながら紹介します。第一回は郵便番号順に夫沢地区の紹介です。

地区の範囲は大字夫沢全域で字名では、中央台・長者原・北原・北台・南台・大・東台になります。

夫沢地区には東京電力福島第一原子力発電所があり、大熊町随一の企業体を抱えた地区です。

夫沢地区の昼間人口密度は、昔と今の様変わりには驚くことばかりです。

この地区に住む九十歳のおばあさんにお話ししていただきました。

二十歳の時、野上から夫沢まで、歩いて嫁に來た。一日がかりだったな。この辺は山ばかりだった。少しづつ原野をマンノでおこして田や畠を広げていったもんだ。昔の仕事は田おこしから田植え、稲刈り、なんでも全部

家中でやった。炭も焼いて、炭すこも作った。筵も俵も作った。この辺では茅を刈るのが一苦勞だった。

ある時、向かいの山に柴刈りに行ったら、馬が逃げてどこかに行ってしまった。探しにわ、探したわ、そうしたら、一山越えた隣の家につながっていた。ありがたかった。ここには飛行場があつて塩田もあつた。今では開けてしまつて、良くなつたわ。昔はよく働いた。今はとても幸せだと思っている。

時間がゆつたりと流れていったような昭和の初期のこと、今思えば、不便なことの多い生活だったかもしませんが地についた生活をみる思いがしました。昔の農村の風景が浮かんでくるようでした。

そしてひとつひとつのかずかに手応えがあり、残され、繼承されてきている。それに比べたら今の私たちの生活の苦労って何でしょう。

娘時代のこと頬を赤らめながら恥ずかしそうに話されたおばあさん。こんな素敵



円墳の上にある塞神社

シリーズで各地区を訪ねます地区の自慢、名物、とつておきの話、昔の写真などをお寄せ下さい。

取材にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。次回は小入野地区を予定しています。

老い方をしたい。おばあさんの幸福なパワーを分けていただいたよな、とても貴重な出会いの日となりました。



展望台の下にある記念碑



杉林の中にある熊町虚空藏



夫沢海岸の愛石神社

### 磐城飛行場跡記念碑

この地起伏少なき松山に農家散財す、昭和15年4月国家の至上命令により突如陸軍で飛行場建設決定 住民11戸移転直ちに着工す、当工法はトロッコにスコップで手積み 人力で押し逐次軌道延長整地す、作業人夫は請負業者と郡内外の青年団 消防団 大日本爱国婦人会 学徒一般民等献身的勤労奉仕で半ば強制作業で工事が進められた。この地水源なく志賀秀孝氏の井戸より送水使用す 17年早春 宇都宮飛行学校磐城分校発足 20年2月磐城飛行場特別攻撃教育隊として独立 日夜猛訓練受け第一線配属若者が 御國のため大空に散華す 同年8月9、10日 米軍空母艦載機の大空襲で施設破壊亦各地方の被害甚大なり 20年8月15日終戦となるその後一部農地開拓す 昭和23年日本国土計画で中央部以北塩田化 海水揚げ天日式で濃縮 旧長塚駅近くまでパイプで送り製品化す 34年イオン樹脂交換製塩発達のため閉じる 亦塩田以外の地23年旧地主に払い下げ25年植林す 37年東京電力株式会社原子力発電所建設候補地となり39年買収41年本着工現在に至る 思い出大き この地忘れらるを憂い終戦43回忌に当たり大戦で亡くなられた人々の御冥福と恒久の平和を祈り 兵舎跡地にこの碑を建立す

昭和63年8月15日